



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和7年4月7日発行
4月号

「学ぶ」「働く」「暮らす」…自立に向けての第一歩

4月1日、新年度の仕事始め。多くの会社で入社式が開催されました。昨年度、巣立っていった13期生たちも、入社式を終え、フレッシュな社会人一年目がスタートしたことでしょう。

ある書籍によると、新入社員に必要な力は、「優秀さ」ではなく、「必ずやりきる力」なのだそうです。つまり、会社との信頼を築くということなのでしょうね。本校の卒業生は、職業に関する教科(コース)の授業の中で、頼まれた仕事を責任をもって「やりきる」経験も積み上げてきました。

社会人1年目、本校の卒業生たちは、それぞれの進路先で精一杯頑張っていることと思います。

開校から15年が経過し、企業に就職した卒業生たちは、約1300名となりました。これからも社会に貢献できる人材として、自分の信じた道を歩いていってほしいと思っています。

さて、14期生 15期生の皆さん。進級おめでとうございます。南大沢学園の生徒として、決められたルールをきちんと守り、充実した春休みを送ることができたでしょうか？ 修了式では、「進級」という話をしました。新たに始まる学校生活の中で、「進級」や「卒業」に向けての一年が始まります。

新入生の模範となる行動ができるよう、気を引き締めて学校生活を送ってください。

そして、新たに入学した16期生 100名の皆さん。御入学おめでとうございます。南大沢学園は、「生徒全員の企業就労を実現」し、自分の力で豊かに幸せに暮らしていけるよう、三年間の学校生活の中で働くための知識や技術・技能を育てていきます。

入学選考を突破し、南大沢学園に入学してきた皆さんは、この4月から、真の自立に向けての第一歩を踏み出します。

さあ、令和7年度、南大沢学園の学校生活がスタートします。

新しい仲間や先生たちとともに、今年度も充実した学校生活を送りましょう。